



「桜とたにし飯山の里」

(撮影：小林会員)

令和 7 年 7 月号 Vol. 255

(2025 年)

発行：令和 7 年 7 月 7 日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <https://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス [atugikanvola@yahoo.co.jp](mailto:atugikanvola@yahoo.co.jp)

発行責任者 会長 田頭 文昭 編集担当者 澤田 正弘

## 《勉強会「あつぎ飯山の昔むかし、そして今」》

行事区分：会員研修

日 時：6 月 14 日（土）11：30～12：50

場 所：あつぎ市民交流プラザ ルーム 610

講 師：小島富司様

参 加 者：会員 17 名

「あつぎ飯山野良の芸術美術館」館長、現代版寺小屋塾「無尽蔵」塾長をされている小島富司様をお迎えして「あつぎ飯山の昔むかし、そして今」と題してご講演をいただきました。

龍蔵神社前の小鮎川護岸にある「飯山七不思議」の創作画を紙芝居にして幼稚園、小学低学年生を対象に実演して



伝えるなどの活動をされています。「白山池の霊水（白龍伝説）雨乞い神事をはじめ、親鸞聖人お手植えの「弘徳寺の袈裟掛けの松（一葉の松ともいわれている）」、弘法大師が飯盛山（めしもりやま）庵で米をとぎ、沢水が白くなったという逸話、小島様によれば飯盛山の地層の一部に粘土質があり、それが水を白濁させていたのではないかとのお話し、「久保の万年橋」、「千ヶ

沢の貝殻石」、「亀甲の松」、「恩曾川の片葉の萱」、「西行のもどり橋」の不思議など、古人からのメッセージとしてのお話しがありました。また幕末期から明治維新直後に英国人フェリックス・ベアトが飯山にやってきた時の様子や残した写真の数々はこの時代の日本の風景・人々の風俗・習慣に関する興味が尽きない資料であるお話し。さらに「ざる菊の栽培」や「ギフチョウの生息」など大変貴重なお話をしていただきました。（鈴木 記）

## <2025 年度かながわガイド協議会 通常総会>

行事区分：かながわガイド協議会総会

実施日時：6月6日(金) 10:00~12:00

会 場：かながわ県民センター305 号会議室

参 加 者：会員 2 名

かながわガイド協議会役員及び加盟 20 団体の代表と、来賓として神奈川県文化スポーツ観光局 笹野観光課長、北村主事をお迎えして今年度の通常総会が開催されました。

来賓の紹介と加盟 20 団体の紹介の後、かながわガイド協議会の三村会長より挨拶がありました。現状、情報が多く溢れているが、情報発信する上で考える事がおおくある。昨年は国際園芸博覧会に関連し各団体に花をテーマに協力頂いたが、今年度も情報発信の協力を宜しく願いしたいとの挨拶がありました。

来賓の笹野課長より、2027 年開催予定の国際園芸博覧会への今迄の協力に対するお礼と、今後も「オール神奈川」で取組みたいので、更なる協力をお願いしたいとの話がありました。



かながわガイド協議会  
三村会長の挨拶

つづいて、議長にかながわガイド協議会の田中副会長を選出し議事に入りました。

### (1) 第 1 号議案 2024 年度事業報告・会計報告・監査報告の件（三村会長から報告）

#### ・2024 年事業の総括

社会や経済環境の急激な変化、県内への訪問客はコロナ禍以前の推移で我々のガイド活動も益々多忙になってきている。特に 2 年後に迫ってきた国際園芸博覧会の成功に向けた取り組みが急務となってきている。事業計画に従い、合同研修会、幹部研修会、訪問ガイドの実施と県からの委託事業の取り組み及びスキルアップ研修を実施しました。残念な報告として、今年 3 月に加盟団体の葉山町文化財研究会が解散されて協議会会員数は 2025 年 4 月 1 日で 20 団体となっています。

・合同研修会・幹部研修会・訪問ガイド及び各研修内容報告、神奈川県の委託事業や県主催のスキルアップ研修参加、諸会議の開催（2024 年度総会・役員会）、県観光課との協議について報告が続いてなされた。

・そのあと協議会の田中会計担当より 2024 年度会計報告と堀川監事より監査報告があり満場一致で第 1 号議案は承認されました。

### (2) 第 2 号議案 2025 年度事業計画案・事業予算の件（三村会長から提案）

#### ・2025 年度方針

- ① 合同研修会・幹部研修会・訪問ガイド研修を通して加盟各団体相互間の情報交換と研鑽・機会の充実を図る
- ② 神奈川県の観光振興施策に積極的に協力し各種事業に参画していく
- ③ 協議会未加入の観光ガイド団体の情報収集を行い、参加を慫慂する

#### ・2025 年度の各種研修会の計画

- ① 合同研修会 2025/11/27(木) かわさき歴史ガイド協会

② 幹部研修会 2026/1/30(金) 横浜シティガイド協会

③ 訪問ガイド研修 例年通り6コース

※第2回訪問ガイド 6/25(水) あつぎ観光ボランティアガイド協会担当

・神奈川県事業への協力ほか

① 県内のすぐれた自然景観や食に関する観光コンテンツの紹介

② 神奈川県主催の研修会に参加、及び関連機関・会議体構成メンバーとの交流

・2025年度事業予算の報告（大村会計担当報告）

以上の第2号議案についても満場一致で承認・可決されました。

(3)第3号議案 2025年度かながわガイド協議会役員改選候補

・会計担当の大村氏が退任され、後任に横浜シティガイド協会の帆足明典氏が選任されました。  
(田頭 記)

## 《飯山・金剛寺の風景》

撮影 2025.6.24 編集担当



参道と山門



入口の石碑  
(曹洞禅宗 金剛寺)



安達藤九郎盛長の墓



俳人「つぶね法師」の墓



## 会 員 投 稿

### 《 四国八十八ヶ所巡礼番外編 高野山（１） 》

清田 邦男

今回は四国巡礼八十八ヶ所８８番札所へ納経し、結願した後の話です。結願の後遍路が向かうべき場所は２ヶ所あります。四国遍路で最初に納経した寺へお礼参りをし、さらに高野山へ行き、弘法大師に報告することとされています。

高野山は、弘仁７年（８１６年）弘法大師が高野山の地を賜り、自ら紀伊の山嶺深く入り弘仁９年（８１８年）道場を設けたことに始まります。高野山真言宗の総本山で、大師は奥の院の大師御廟に永遠の禅定に入っていると信じられています。つまり大師は今も生きておられ、日



高野山金剛峰寺表門

に２回の食事も捧げられています（生身供。といいます。）。そのお大師様に無事結願したことを報告に行くのです。高野山に泊まるため、高野山宿坊協会に条件を伝え、宿坊を予約します。私は２回の遍路とも無量光院をお願いしました。８８番札所の大窪寺の傍にある宿、八十窪のおかみさんと宿坊のことを話していたとき、おかみからそれぞれの国ごとにご縁のある宿坊があると聞きました。

それで思い浮かんだのは、相模国がご縁のあるのは高室院だということです。高室院は高野山の小田原谷の小田原通にあります。寺紋は三つ鱗といえ、もうお分かりですね。そう小田原北条氏の菩提所です。北条五代最後の当主北条氏直は豊臣秀吉に降伏し、高野山に蟄居となりましたが、その場所が高室院です。昔、高野山では参詣の人にとどこから来たのか聞いて、行く寺を指示していたとい



高野山壇上伽藍  
手前から東塔、大会堂、根本大塔

うので、江戸時代なら私は高室院に泊まることになったでしょう。なお、高室院の現在の本尊は昭和の作ですが、元の本尊の薬師如来は行基の作と伝えられ、国の重要文化財として高野山霊宝館に収められています。

さて、なぜ高室院が思い浮かんだかという、以前角川書店の「神奈川県姓氏家系大辞典」を見たとき、巻末の方に高野山「高室院文書」等に見える相模国分の姓氏名一覧という資料がありました。少し脱線

しますが、この資料について説明しましょう。これは、寒川町史調査報告書２所収の「相模国姓氏名一覧」より「姓」のあるものに限って一覧化したもので、高野山高室院及び逗

子市東昌寺所蔵の檀廻帳からつくられました。資料の年代は①享保 20 年＝愛甲郡（宮ヶ瀬村は文化 3 年）、足柄上郡、足柄下郡（小田原宿は天保 2 年）、大住郡、淘綾郡 ②その他の地域は宝暦 2 年～文化 3 年のものです。

私の住んでいる妻田（愛甲郡）を見ると、妻田村と妻田ノ内反田村川井金右衛門組下（以下「反田村」という。）に分けられ、名主 3 名と名主・組頭とされる者 1 名、組頭 2 名を含め 79 名の姓名が記載されています。このなかには私の先祖清田傳右衛門もいます。反田村には名主 2 名を含む 18 名が記され、妻田村全体で 97 名の「姓」を持つ家があったことを知りました。

郷土史家の北村精一氏が県史 15 号に寄稿した「相模国中部の血系」では、妻田の戸数は元禄の頃約百戸、正保一文政頃で約百三十戸とあるので、8 割から 10 割近い家が「姓」を持っていたことになりま

す。ちなみに「妻田の歴史」によると明治 22 年頃でも約 150 戸だったそうです。

江戸時代農民は「姓」を持たないと思っていた私には大きな驚きでした。北村氏は同書で「身分制が確立するに伴い苗字を武士が占有するところとなった。

（中略）百姓等は扁額や墓石に苗字を残し、これらを守り通して明治に復活の光をあびた。」と述べていま

す。公式には名乗れない苗字を、江戸時代を通じて守り通した多くの農民がいたことを知りました。

その相模国の農民の氏名を記録していたのが高野山高室院です。

話を戻して、高野山は標高約 800～900m の山上に広がる盆地で、お堂や塔が立ち並ぶ壇上伽藍、高野山真言宗 3600 ヶ寺の総本山金剛峯寺、117もの立ち並ぶ寺院、弘法大師の御廟があり、戦国武将など 20 万基の墓碑が並ぶ奥の院などを有する聖地です。

次回は高野山での体験をお伝えします。



南海電車の観光列車「天空」



厚木市マスコットキャラクター

あゆみ回ちゃん

## 最近の活動

| 日 付      | 場 所     | 内 容                             | 参 加 者   |
|----------|---------|---------------------------------|---------|
| 6 月 6 日  | 横浜市     | かながわガイド協議会総会                    | 会員 2 名  |
| 6 月 14 日 | アミューあつぎ | 定 例 会                           | 会員 17 名 |
| 6 月 14 日 | アミューあつぎ | 勉 強 会<br>「あつぎ飯山の昔むかし、そして今」      | 会員 17 名 |
| 6 月 18 日 | 飯山地区    | 下見 訪問ガイド<br>「飯山観音開山 1300 年を訪ねる」 | 会員 9 名  |
| 7 月 2 日  | 依知南公民館  | 編集会議                            | 会員 3 名  |

### 編集後記

あつぎ観ボラが担当の「かながわガイド協議会・訪問ガイド研修」は神奈川県観ボラ 13 団体、43 名をお迎えして 6 月 25 日に開催予定でしたが、台風 2 号から熱帯低気圧に変わった降雨により残念ながら中止となりました。今回は当会では初めて 1 つの班に説明ガイド 1 名が付く一気通貫ガイド、スケッチブックを使った A3 サイズの資料（写真・絵）掲示など新しい取り組みを準備してきましたのですが残念でした。今回の内容を生かしたガイドがいつか行われる事を願っています。

編集委員 小林 直樹 澤田 正弘 清田 邦男